

内訳書の容量上限の拡大及び拡大に伴うエラーへの対応について（工事）

電子入札において、入札書提出時に添付する内訳書について、ファイル容量の制限を従来の1MBから2MBに拡大しました。ただし、本措置は、1MB以上の内訳書の添付を可能にする補助的な措置であり、1MB以上の内訳書を添付する場合、ご使用のパソコンの設定によっては、エラーが生じやすくなる場合があります。内訳書の転送時に以下のようなエラーが生じる場合は、【対応方法】を参考に対応を行ってください。

原則として、従前のように内訳書の容量が1MB以下になるよう圧縮等を行い、また、時間に余裕をもって入札を行うようにしてください。

※以下の対処方法は OS: Windows XP、ブラウザ: Internet Explorer 6.0 の場合の例です。使用している機種によっては表示が異なる場合があります。

【内訳書提出時のエラーについて】

入札書提出画面において、「入札書提出」ボタンを押すと、「入札書／見積書作成を行います。」というメッセージのウィンドウが開きます。



途中で以下のようなエラーメッセージが表示される場合があります。

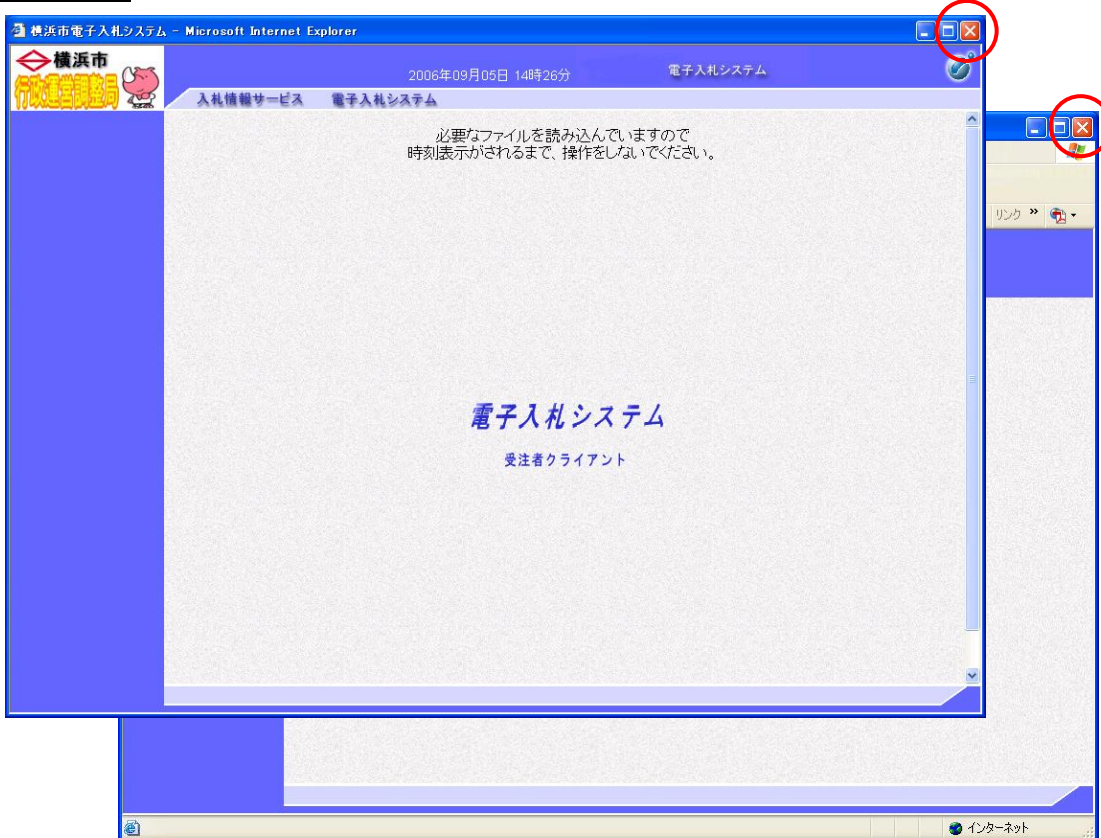


このような場合、以下の方法を参照して対応してください。

【対応方法】

1. ブラウザを全て閉じる（ブラウザ・Javaの一時メモリ（キャッシュ）のクリア）

ブラウザ・Javaの一時メモリ（キャッシュ）の空き容量不足が原因でエラーとなっている場合がありますので、全てのブラウザ（電子入札に関係のないブラウザも含む）のウィンドウ右上の「X」印をクリックして、再度内訳書の送信（入札書提出）作業を行ってください。



2. Javaのメモリ拡張

ブラウザを一度全て閉じて、内訳書送信（入札書提出）時に再度エラーが起こる場合は、以下のとおりJavaのメモリを拡張する方法があります。ただし、本設定を行ったままにしておくと、パソコンに負荷がかかる場合がありますので、必要がなくなれば、元の設定に戻すことを推奨します。

①Windowsの「スタート」ボタンから「コントロールパネル」を開きます。



② (カテゴリ表示の場合) (クラシック表示の場合は④に進んでください)

「コントロールパネル」画面の「関連項目」欄にある、「コントロールパネルのその他のオプション」を選択します。



③ 「Java plug-in」のアイコンをダブルクリックします。(⑤に進んでください)



④ (クラシック表示の場合)

「Java plug-in」のアイコンをダブルクリックします。



⑤ 「Java(TM) Plug-in コントロールパネル」画面が開くので、「基本」タブを開き、「Java 実行時のパラメータ」欄に、「-Xmx256m」と入力し、「適用」をクリックします。



⑥ ウィンドウ右上の「×」をクリックして「Java(TM) Plug-in コントロールパネル」画面を閉じます。

※当該入力欄に上記コマンドが入力されている間、メモリは拡張されたままになりますので、必要がなくなれば、コマンドを消去して「適用」をクリックして、元の設定に戻しておくことを推奨します。

⑦再度、内訳書の送信（入札書の提出）作業を行ってください。

■お問合せ

システムに関するお問合せ…

横浜市電子入札ヘルプデスク

Tel. 045-662-7992

制度に関するお問合せ…

横浜市行政運営調整局契約第一課

Tel. 045-671-2246